

グローバル教育センター

Center for Global Human Resource Development



2024 GUIDE



グローバル
リーダーシップ
プログラム
立教GLP

海外ワーク
エクスペリエンス

国連ユース
ボランティア

陸前高田
プロジェクト

「国際協力人材」
育成プログラム

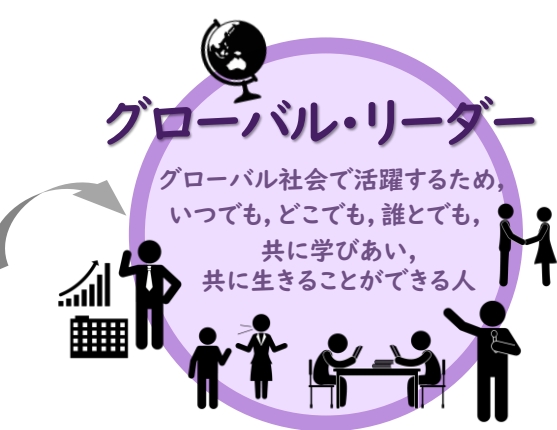


立教大学
RIKKYO UNIVERSITY

◆ グローバル教育センター紹介 ◆

グローバル教育センターでは

グローバル社会で活躍するために、
いつでも、どこでも、誰とでも、
共に学びあい生きることができる人
=「グローバル・リーダー」の育成を目指しています。



グローバル社会で活躍できる能力を身に付ける多彩なプログラム

◇ 提供プログラムの紹介 ◇

グローバル・リーダーシップ・プログラム(立教GLP)

リーダーシップは誰もが持っているもの。自分だけのリーダーシップを見つけよう！



概要

立教GLPで提唱するリーダーシップは、一人ひとりが自分の強み・弱みを理解し、ビジョンを掲げて周囲を巻き込み、チームの目標達成に向けて貢献できる能力(スキル)のことである。このリーダーシップをグローバルな環境下でいつでも発揮できるスキルとして身に付け、強化していく。

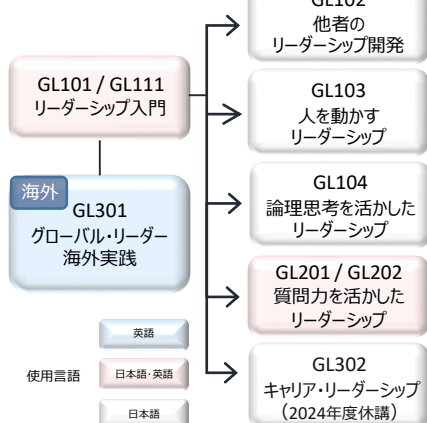
〈プロジェクト・実践系科目〉

GL101	企業から与えられた課題にチームで取り組み、活動中に発揮したリーダーシップを振り返る
GL111(英)	
GL201	質問力強化によるリーダーシップの開発
GL202(英)	
GL301(英)	海外プログラムに参加しリーダーシップを実践

〈スキル・理論系科目〉

GL102	他者のリーダーシップ開発
GL103	人を動かすリーダーシップ
GL104	論理思考を活かしたリーダーシップ
GL302	キャリア・リーダーシップ (2024年度休講)

科目体系図



特徴

1. 効果的、実践的なリーダーシップの開発
2. 高校生や留学生も授業に参加
3. 講義型でなくグループワーク中心のアクティブな学習スタイル

こんな人におすすめ

- ・リーダーとして苦い経験をしたことがある
- ・自分の力をアウトプットして試したい
- ・グローバルな環境下で自分の強みや弱みを知りたい

「国際協力人材」育成プログラム

世界で起きていること、あなたができること、その2つを学び、国際協力の現場で実践できる力とマインドを養う

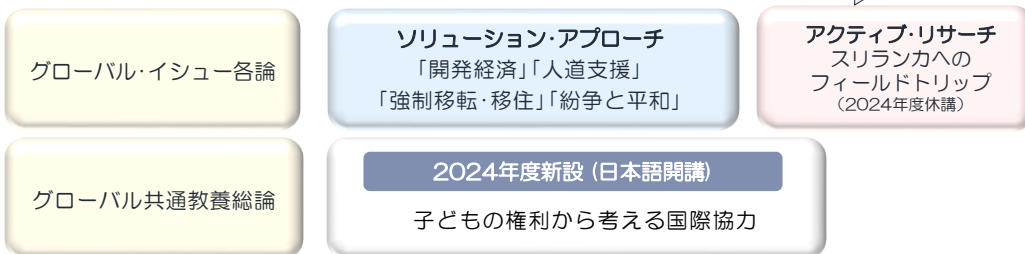


概要

「国際協力」というテーマの下に開設された多様な科目と、海外フィールドワーク科目での実践的な学びを通じて、国際社会が取り組むべき地球規模の課題(グローバル・イシュー)に対応・解決するための知識や能力を身に付けた「国際協力人材」を育成するプログラムである。英語開講。

展開科目

内容の専門度、実践度



こんな人におすすめ

- ・国際問題に興味がある
- ・SDGsに興味・関心がある
- ・国際協力の現場で働くことに関心がある

海外ワークエクスピリエンス

海外での就業体験や生活を通じて グローバルに活躍できる力を培い 帰国後の学びや将来に活かす



概要

レベルと形態の異なる3タイプの海外就業体験プログラムを展開。「海外ワークエクスピリエンス1」は団体で1週間程度海外を訪れ、企業訪問や企業の課す業務課題に取り組むプログラム。「海外ワークエクスピリエンス2」では個人で4週間程度現地企業に赴き、実践的な業務を経験。「グローバルワークエクスピリエンス（オンライン）」は海外拠点企業が指示する業務に国内からオンラインで取り組む。

こんな人におすすめ

- ・企業や社会の仕組みを知り、グローバルに働くイメージを持ちたい
- ・海外の職場環境で自分の力を試してみたい
- ・グローバル社会で活躍するため自分に必要な能力を見極めたい

使用言語

- ・英語
- ・派遣国の現地語、日本語等
- ※派遣先企業により異なる

〈詳細 & 留意事項〉

「海外ワークエクスピリエンス1（入門編）」団体(10名～)。長期休業期間中、1週間程度。企業は年度により異なる。プログラム諸経費自己負担(40～60万円程度)。企業訪問・社会人インタビュー・プロジェクト遂行等に取り組む。

「海外ワークエクスピリエンス2（実践編）」個人参加(各企業若干名)。長期休業期間中、4週間程度。アジア・ヨーロッパ・オセアニア等各国の企業。プログラム諸経費自己負担(30～80万円程度)。

「グローバルワークエクスピリエンス（オンライン）」海外拠点企業とのオンライン実習に臨む。春学期中、30時間以上(2～3か月間)。原則プログラム費なし(一部、要プログラム費)。

◆実習受入企業一例：日本航空(ロンドン/フランクフルト)、JR東日本(シンガポール)、日立イーストアジア(香港)、
※年度ごと変更あり H.I.S.(ニュージーランド/マレーシア)、トヨタ自動車(マレーシア)、日商エレクトロニクスベトナム 他

特徴

1. 海外拠点企業の就業体験で、現場を知る
2. 多彩な国/業種の受入企業と連携
3. 海外渡航型とオンライン型を展開
4. 興味関心やレベルに応じたプログラム選択可

国連ユースボランティア

開発途上国の国連機関で学生ボランティアとして活動。国際協力の経験を積みグローバル人材としての素養を涵養する



概要

国連機関と国内4大学の連携により、5か月間、開発途上国における国連等の国際機関に派遣されるプログラム。グローバルな問題の本質に迫る知識と視野を身に付けることを目指す。国連事務所等に派遣され、各機関のスタッフや現地の方々とともに業務に従事する。広報活動業務やプロジェクト運営支援等を通して教育・環境・保健衛生などの分野に携わる。

こんな人におすすめ

- ・国際協力や海外ボランティアに興味がある
- ・将来、国連機関やNGOで仕事をしたい
- ・開発途上国の実態を知りたい

使用言語

- 英語
- ※派遣先により現地公用語など他言語の使用可能性あり

〈詳細 & 留意事項〉

- ・派遣国：開発途上国各国(アジア・中南米・アフリカなど。毎年度国連機関が提示)
- ・派遣先機関/業務内容：国連事務所/「業務指示書」にて提示。年度により異なる
派遣先過去実績：UNV(国連ボランティア計画)、UNDP(国連開発計画)、UN Women、UNHCR(国連難民高等弁務官)等
- ・費用：参加者負担は事前/事後研修・海外旅行保険・予防接種等の基本経費に含まれない諸経費(計20～30万円程度)
※往復渡航費・住居費・現地生活費等の基本経費はUNVを通じて大学より支援
- ・宿泊先手配、査証取得など必要な手続きは国連ボランティア計画の協力のもと個人の責任で行う
- ・事前研修は8～9月に約10日間、帰国報告会は3月に全派遣者合同で実施。参加必須

特徴

1. 国連機関において国際協力分野の貴重な就業体験ができる
2. 開発途上国で、異なる環境で育った人々と協働する/生活する
3. 現地で5か月間実施

陸前高田プロジェクト

震災被災地の「今」を学び 復興における課題を共有し共に考える スタンフォード大学等アメリカの大学/香港大学/シンガポール国立大学との協働プログラム



概要

東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市の現状と復興の過程を理解し、現在抱える課題を共有する。4泊5日の現地研修、事前・事後研修を実施。海外の大学生ら(スタンフォード大学等アメリカの大学、香港大学、シンガポール国立大学)と共に学び協働作業をする中で、英語を使ったコミュニケーション能力のみならず、広く多様な視点から課題に向き合い、考え、発信する力を身に付ける。

こんな人におすすめ

- ・被災地のこれまでと現在を理解し、共に考えたい
- ・共に課題に向き合い、自分にできることを考えたい
- ・海外の大学生と英語での議論やディスカッションに挑戦したい

使用言語

- 英語
- ※現地研修では日本語使用場面あり

〈履修者の声〉

「現地を実際に訪ねなければ現状を真に理解することは難しく、第三者にそれを伝えるのは一層難しかった。より多くの人に実際に被災地を訪れてもらえるよう情報を発信し続けたい」

「被災地へ実際に足を運ぶことで実体験として記憶に深く刻まれた」

「海外の学生と協働することで海外にも被災地の情報を発信できる貴重な機会になると感じた」

〈留意事項〉

プログラム費：6万円程度(交通費・宿泊費・一部食費等) ※「陸前高田サテライト利用に係る交通費・宿泊費援助金」の申請可 ⇒ 適用後の参加者負担額：15,000～20,000円程度(2023年度実績:35,000円の援助金支給)

特徴

1. 広く多様な視点で被災地・被災者が抱える課題に向き合い、思考する
2. 被災地に赴き自身の体験として被災地を知る
3. 海外の大学生との英語による協働作業

◇履修案内◇

◎全プログラム共通◎

- ・科目区分：**全学共通科目**／**全学共通カリキュラム科目**(修得した単位の扱いは各学部の履修要項を確認すること)
- ・「**グローバル教養副専攻**」指定科目を多数開講



グローバル・リーダーシップ・プログラム(立教GLP)

- 【開講学期】 春学期／秋学期 (GL301は8～9月, 2～3月)
- 【説明会】 3～4月・7月(GL301は4月及び9月頃に別途実施)
- 【募集時期】 春学期もしくは秋学期の履修登録時期
(GL301は6月及び11月頃)
- 【単位数】 各2単位
- 【募集人数】 科目により異なる (R-Guide, シラバス参照)
- 【選考】 科目により異なる
- 【履修資格・条件】
 - ・上位科目の一部には先修規定があるので注意すること
 - ・経営学部生はGL101, GL104履修不可
 - ・GLAP学生は全学共通科目としてGL111, GL202履修不可
 - ・英語で提供される科目を履修するには一定水準の英語力を求められる
 - ・その他詳細はR-Guide, シラバスを確認すること
- 【履修登録方法】
 - ・各科目の定められた書式/方法で履修申請をすること (R-Guide参照)

※GL302は2024年度休講

海外ワークエクスペリエンス

- ①「海外ワークエクスペリエンス1」
 - ②「海外ワークエクスペリエンス2」
 - ③「グローバルワークエクスペリエンス(オンライン)」
- 【実施時期】：①2～3月, 1週間程度
②長期休暇中, 4週間程度, ③春学期中30時間以上
(いずれも事前研修・事後研修あり)
- 【開講学期】 ①秋学期, ②春学期・秋学期, ③春学期
- 【説明会】 ①9月, ②4月/9月, ③前年度2月
- 【募集時期】 ①9～10月, ②4～5月/9～10月, ③前年度2月
- 【単位数】 ①③1単位, ②2単位
- 【募集人数】 ①10～20名程度, ②③各派遣先若干名(派遣先企業により異なる)
- 【選考】 有：プログラムごと提示(条件確認, 書類選考, 面接等)
- 【履修資格・条件】
ワークエクスペリエンス実施学期に在学中の者。
各プログラムを遂行する意欲があり, 求められる言語能力等を有すること。受入企業により応募資格条件あり。
- 【履修登録方法】 その他登録

国連ユースボランティア

- 【実施時期】 8～9月：事前研修
9月～翌年2月：現地研修, 3月：帰国報告会
- 【開講学期】 秋学期
- 【説明会】 前年度1～2月
- 【募集時期】 前年度3月
- 【単位数】 12単位
- 【募集人数】 1名
- 【選考】 有
①学内選考：書類および面接, ②国連による選考(学内選考合格者のみ)：書類(英文履歴書等)・オンライン面接等
(選考方法は予定。変更可能性あり)
- 【履修資格・条件】 派遣年度9月1日時点で満20歳以上26歳未満, 当該年度在学していること, 学部学生。その他R-Guide記載の各種履修資格を満たす者。
- 【履修登録方法】 その他登録
- 【他】 卒業要件単位や卒業時期, 他科目の履修については応募前に十分に確認しておくこと

「国際協力人材」育成プログラム

- 【開講学期】 春学期 / 秋学期
- 【募集時期】 履修登録期間中
- 【単位数】 各2単位
- 【募集人数】 科目により異なる(R-Guide, シラバス参照)
- 【選考】 無
- 【履修資格・条件】 無
- 【履修登録方法】 抽選登録(全科目)
- 【他】 求められる英語力を示した科目あり (シラバスに明示)

※「アクティブ・リサーチ」は2024年度休講

子どもの権利から考える国際協力

- 【開講学期】 春学期
- 【募集時期】 履修登録期間中
- 【単位数】 2単位
- 【募集人数】 40名
- 【選考】 無
- 【履修資格・条件】 無
- 【履修登録方法】 抽選登録

※公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン協力科目

2024年度新設

陸前高田プロジェクト

- 【実施時期】 事前研修: 7～8月複数回,
現地研修: 8月(5日間), 事後研修: 8月
- 【開講学期】 秋学期
- 【説明会】 5月
- 【募集時期】 5～6月中旬
- 【単位数】 2単位
- 【募集人数】 10名程度
- 【選考】 有：申請書・面接
- 【履修資格・条件】 英語コミュニケーション能力を有すること 他
- 【履修登録方法】 その他登録

◇奨学金について◇

海外渡航を伴うプログラムは本学の「**グローバル奨学金**」
／「**校友会成績優秀者留学支援奨学金**」の対象に指定されているプログラムもある。その他プログラムごとに設けられた奨学金もあり, 各条件を満たせば**給与奨学金**が支給される。適用される奨学金制度については学生部もしくは当該プログラム担当に確認のこと。



立教大学グローバル教育センター

(池袋キャンパス マキムホール2階)

Tel: 03-3985-4876

e-mail: cghrd-info@rikkyo.ac.jp

HP: <https://ghrd.rikkyo.ac.jp>

立教大学グローバル教育センター



プログラム紹介動画,
活動報告・申請要領
等を掲載しています